

事業所における自己評価表（公表）
（児童発達支援）

公表：令和 3年 3月30日

事業所名 上ノ国町子ども発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○		・机上課題等、活動内容によって部屋を使い分けることで、落ち着いて活動することが出来ている。	・利用定員に対して十分なスペースは確保出来ています。 ・利用者の状況や活動内容によって部屋を使い分ける等、適切なスペースの確保に努めます。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○			・職員は、法令基準に基づき適切に配置しています。今後も専門性を高めるため研修会等への参加をしていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	○		・必要に応じて、パーテーション等を利用し構造化している。	・利用者の個々の状況に応じて適切な環境となるよう心掛けていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・こまめに物品の消毒や清掃を行っている。	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点だけでなく、清潔な生活空間を保つため、手指及び物品や室内のこまめな消毒は引き続き行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			・職員全体で情報を共有しながら、必要に応じた見直し等を行っていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		・年に一度、アンケート調査を保護者に実施し、回答を職員間で共有し業務改善につなげている。	・一年に一度、保護者に向けて事業所評価のアンケート調査を実施しております。結果については職員間で確認し、業務改善につなげていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		・年に一度、3月中旬頃を目途に上ノ国町HPにて公表している。	・アンケート調査の結果等について職員間で話し合い、その結果を事業所としての自己評価とし、上ノ国町のホームページにて公表しております。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・外部評価は行っておりませんが、職員間でその都度見直しをし業務改善に努めていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		・今年度については、感染症拡大防止の観点から、機会を設けることが難しかった。	・外部の研修会につきましては、状況を見つつ検討していきます。 ・職場内でも職員の資質向上につながる取り組みが出来るよう努めていきます。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・子どもの成長に合わせて見直しをしている。	・アセスメントシートを使用したり、保護者との個別懇談等を実施しながら、ニーズに合った計画を作成するよう心掛けていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○			・事業所内で共通のアセスメントシートを使用しております。今後も子どもの状況把握に努めていきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			・利用者の年齢や発達段階、特性等を考慮した支援内容となるよう心掛けております。今後も、適切な支援内容を設定出来るよう努めていきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画を定期的に確認し、発達状況と照らし合わせながら支援内容を工夫している。	・支援内容を定期的に確認し、適切な支援が行われるよう心掛けていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・随時、職員間で相談をしながら行っている。	・職員間で情報を共有し、利用者が楽しんで活動出来るようなプログラムの立案を心掛けていきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・療育記録を見直ししながら、固定化しないよう工夫している。	・支援内容を振り返り、利用者的人数や状況に応じて、その都度活動内容が固定化しないよう工夫をしていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	○			・個別と集団を適宜組み合わせるといことは難しいですが、子どもの状況や保護者の要望に沿った計画を作成するよう心掛けていきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		・その都度、必要に応じて実施している。	・職員での打ち合わせはその都度実施しております。 ・今後も気づいた点等を随時伝え合い、情報の共有を密にしています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・改めて打ち合わせの時間を設けることは少ないが、気づいたことは随時話し合うようにしている。	・職員での打ち合わせはその都度実施しております。 ・今後も、気づいた点等を随時伝え合い、情報の共有を密にし、次回につながる支援を目指していきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			・療育毎に記入している記録をもとに、支援の検証・改善につなげていきます。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		・半年に一回、プランの見直し、アセスメントをしている。	・個別支援計画は半年ごとに評価を行い、その都度見直しをしております。今後も利用者の状況等を考慮し、適正な支援計画を作成するよう心掛けていきます。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			・児童発達支援管理責任者及び担当指導員がサービス担当者会議に適宜出席するよう勤めていきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○		・保健師、各関係機関と連携している。	・随時、関係機関と連携を図りながら取り組みを進めていくよう心掛けていきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。		○		・現在、対象となる利用者はありませんが、随時、必要に応じて検討していきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。		○		・現在、対象となる利用者はありませんが、随時、必要に応じて検討していきます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じてケース会議等を実施している。	・ケース会議等を実施しております。今後も、関係機関と連携を図りながら情報共有に努めていきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じてケース会議等を実施している。	・ケース会議を実施しております。今後も、関係機関と連携をはかりながら情報共有に努めていきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			・研修会への参加や、適宜アドバイスをいただく等の連携を図っております。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等と交流をする機会があるか。		○	・同年齢の子どもではないが、高校生との交流の場を設けている。	・同年齢ではありませんが、上ノ国高校のボランティア局の生徒の協力を得て、交流事業を実施しております。 ・日程や時間帯の都合上、全ての利用者を対象にした交流機会の確保は難しいですが、今後も継続していきます。

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			・児童発達支援管理責任者が、各種会議等へ参加しております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や個別懇談時に、様子や状況を確認している。	・個別懇談や送迎時の短い時間ではありますが、その都度子どもの様子を伝え合えるよう心掛けていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。		○	・家族支援プログラムではないが、日々の療育を通して、場面に応じた対応等を伝えるように心掛けている。	・ペアレントトレーニング等の家族支援プログラムは実施しておりません。 ・今後、実施するかにつきましては検討してまいります。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			・利用前面談時や契約時に丁寧な説明を心掛けておりますが、ご不明な点がございましたらいつでもお声かけ下さい。再度説明をさせていただきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			・個別支援計画は、利用者の年齢や発達状況、特性を考慮した上で適切な支援内容を選択し、作成するよう心掛けております。また、作成した個別支援計画につきましては、保護者に説明し同意をいただいております。 ・今後とも、適正な個別支援計画を作成するよう努めてまいります。
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			・相談等につきましては、随時、対応させていただいております。 ・今後も迅速に対応してまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		○	・感染症拡大防止の観点から、人が集まる取り組みを全く出来なかった。	・新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、父母会の実施を検討してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			・苦情等に関する相談窓口につきましては、契約書に記載している他、玄関に掲示しております。 ・相談等につきましては、迅速かつ適切に対応するよう努めてまいります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・月に一度、お便りを発行している。	・毎月「ひまわり便り」を発行し、行事予定等をお知らせしております。 ・今後も、毎月発行し必要な情報を発信出来るよう努めてまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	○			・個人情報の取扱いにつきましては、十分注意をしております。
	39	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			・必要に応じて視覚情報を用いる等、相手に伝わりやすいように工夫してまいります。

④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか。	○		・地域住民を招待する等の行事は特に行っていないが、上ノ国高校の生徒との交流の場を設けている。	・上ノ国高校の生徒との交流事業を実施しております。幅広く地域住民を招待するような行事はありませんが、高校生との交流事業は今後も継続していきます。
④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・新しい施設に移転したこともあり、マニュアルを再検討し、それに応じた対応手順を職員間で確認し、保護者への周知等も心掛けている。	・保護者への周知につきましては、お便りや掲示物にてお知らせしていきます。 ・発生を想定した訓練につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、職員の救命講習等を実施出来るよう検討していきます。
④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			・職員間でマニュアルを確認し、年に数回避難訓練を実施しております。 ・今後は、利用者の年齢等を考慮しながら「災害時の対応」について伝えられるよう工夫していきます。
④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・通所した際に、保護者から状況を聞き取るようにしている。	・保護者からの聞き取りを徹底していきます。
④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	○		・医師の指示ではないが、保護者に必ず確認を取り対応している。	・保護者からの聞き取りを徹底していきます。
④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			・職員間で情報を共有しております。今後も、気づきを共有し、事故がないよう心掛けていきます。
④⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・半年に一度、虐待防止チェックリストを使用して行動確認をしている。	・半年に一度チェックリストを用いて職員の対応を見直しております。今後も関連する研修会に参加しながら、適切な対応に努めていきます。
④⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・必要な場合に説明し、了解を得ている。現在は対象となる子はいない。	・身体拘束の必要がない利用者につきましては、児童発達支援計画（個別支援計画）には記載しておりません。 ・対象となり得る場合には、十分な検討を重ね、決定していくよう努めていきます。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

